

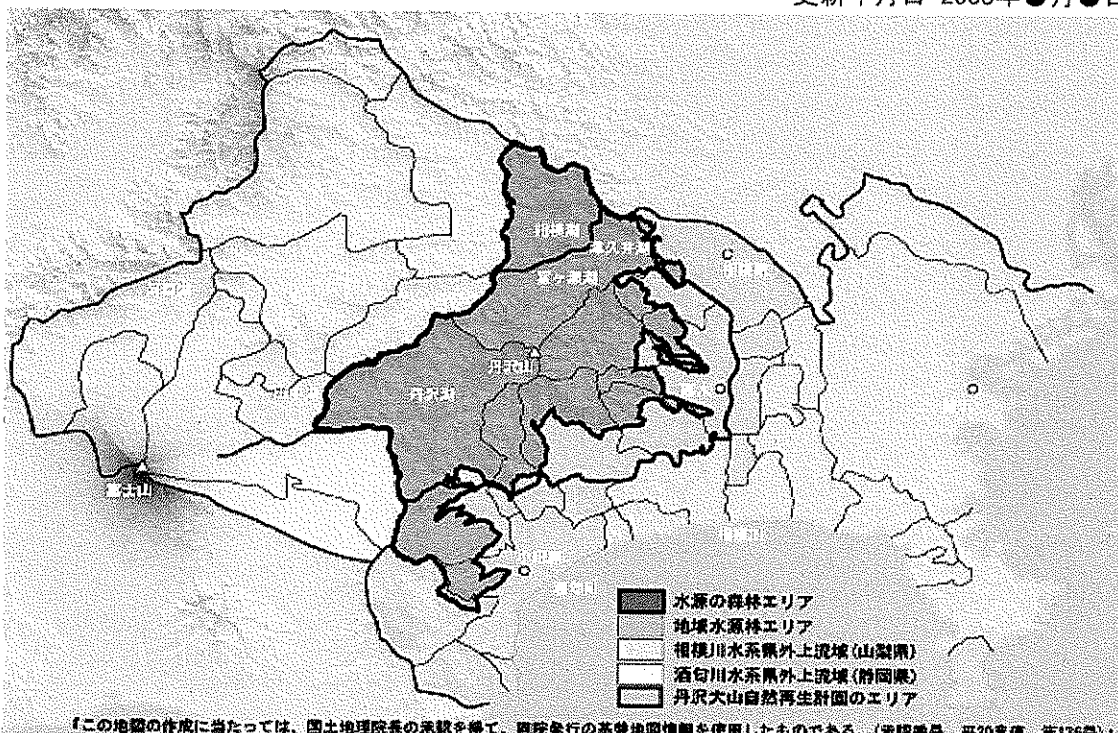
県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源環境の保全・再生をめざして >



特別対策事業の紹介

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ 特別対策事業トップ
- ▶ 水源の森林づくり
- ▶ 丹沢大山保全再生
- ▶ 溪畔林整備事業
- ▶ 間伐材搬出促進
- ▶ 地域水源林整備
- ▶ 河川水路自然浄化対策
- ▶ 地下水保全対策
- ▶ 公共下水道
- ▶ 合併処理浄化槽
- ▶ 相模川水系流域環境共同調査
- ▶ 水環境モニタリング調査
- ▶ 県民参加による新たな仕組みづくり
- ▶ 県民参加のページはこちら↓
- ▶ 県民参加による新たな仕組み
- ▶ 水源環境保全・再生かながわ県民会議
- ▶ 市民事業等審査専門委員会
- ▶ 施策調査専門委員会
- ▶ 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
- ▶ 出前懇談会
- ▶ ご意見をお寄せください



【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、再発発行の基盤地図情報を使用したものである。(承認番号 平20承発、第136号)】

画像を拡大

概要

「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき、水源環境保全・再生の取組みを効果的かつ着実に推進するため、20年間の第1期の5年間に充実・強化して取り組む特別の対策について紹介します。

計画期間

平成19年度から23年度

事業別目次

- 水源の森林づくり事業の推進
- 丹沢大山の保全・再生対策
- 溪畔林整備事業
- 間伐材の搬出促進
- 地域水源林整備の支援
- 河川・水路における自然浄化対策の推進
- 地下水保全対策の推進

市町村別目次

- 小田原市
- 相模原市
- 秦野市
- 厚木市
- 伊勢原市
- 海老名市
- 座間市
- 南足柄市

い

県内ダム集水域における公共下水道の整備促進	中井町
県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進	大井町
相模川水系流域環境共同調査の実施	松田町
水環境モニタリング調査の実施	山北町
県民参加による新たな仕組みづくり	開成町
	箱根町
	真鶴町
	湯河原町
	愛川町
	清川村

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



水源の森林づくり事業の推進

更新年月日・2008年●月●日

特別対策事業トップ

- 水源の森林づくり
- 丹沢大山保全再生
- 溪畔林整備事業
- 間伐材搬出促進
- 地域水源林整備
- 河川水路自然浄化対策
- 地下水保全対策
- 公共下水道
- 合併処理浄化槽
- 相模川水系流域環境共同調査
- 水環境モニタリング調査

県民参加による新たな仕組みづくり

県民参加のページはこちら↓

県民参加による新たな仕組み

水源環境保全・再生かながわ県民会議

市民事業等審査専門委員会

施策調査専門委員会

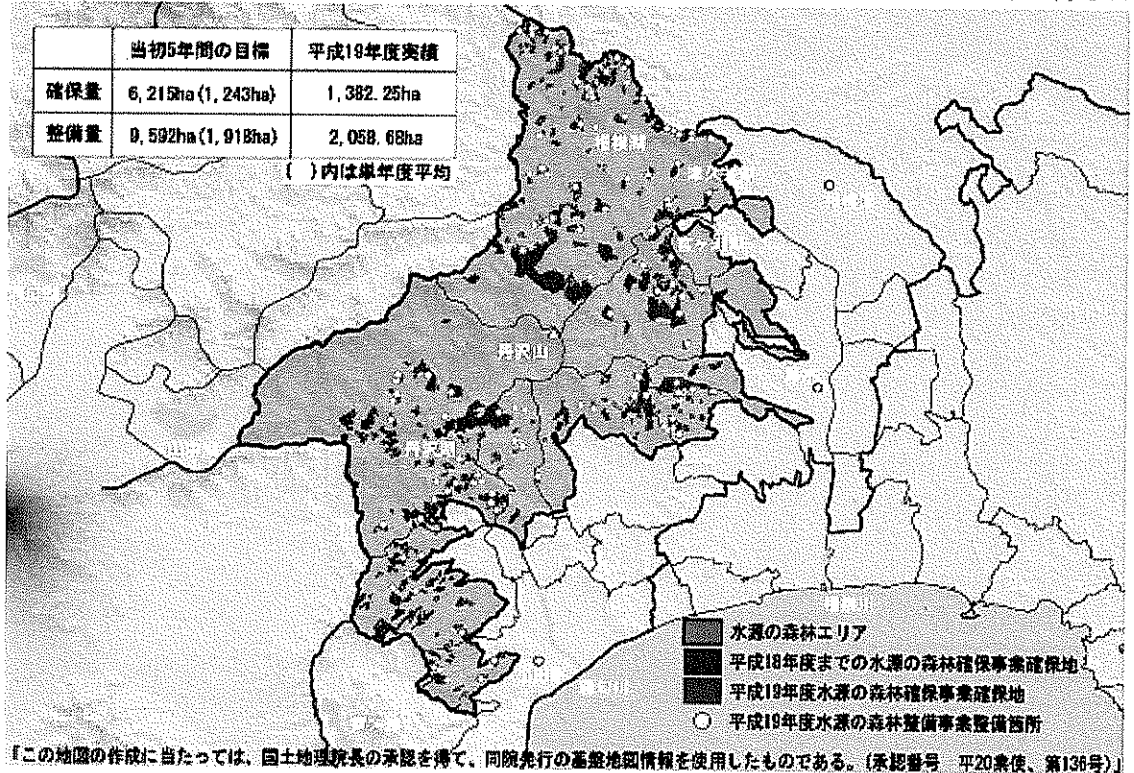
水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

出前懇談会

ご意見をお寄せください

	当初5年間の目標	平成19年度実績
確保量	6,215ha(1,243ha)	1,382.25ha
整備量	9,592ha(1,918ha)	2,058.68ha

()内は単年度平均



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院先行の基盤地図情報を使用したものである。(承認番号 平20兼使、第136号)」

画像を拡大

ねらい

良質で安定的な水を確保するため、荒廃の進む水源の森林エリア内の私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養林など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す。

目標

平成34年度までに水源の森林エリア内の手入れの必要な私有林27,000ヘクタールを確保し、平成38年度までに延べ65,974ヘクタールを整備することを目標として、当初5年間で6,215ヘクタールの確保、9,592ヘクタールの整備を行う。

事業内容

水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約の4つの手法により、公的管理・支援を行い、巨木林、複層林、混交林など豊かで活力ある森林づくりを進める。さらに、これまでの取組をより一層推進するとともに、整備のスピードアップ(確保後の初回



い

整備を人工林は3年以内を2年以内に、
 広葉樹林は5年以内を3年以内に)や水源地域として重要な私有林の公有地化の拡大
 (確保目標9パーセントを12パーセントに)を図る。

■ 公的管理・支援の方法

- 水源分収林: 森林所有者との分収契約により、森林を整備する。
- 水源協定林: 森林所有者との協定(借上げなど)により森林整備を行う。
- 買取り: 貴重な森林や水源地域の保全上重要な森林を買い入れ、保全整備する。
- 協力協約: 森林所有者が行う森林整備の経費の一部を助成する。

■ 目標とする林形

- 巨木林: 樹齢100年以上の森林
- 複層林: 高い木と低い木からなる二段の森林
- 混交林: 針葉樹と広葉樹が混生する森林
- 広葉樹林: 林内植生が豊かな地域の自然環境に適応している広葉樹林

■ 事業費

- 当初5年間計: 152億2,500万円(単年度平均30億4,500万円)
- うち新規必要額: 83億9,300円(単年度平均16億7,900万円)

■ 事業実施状況

■ 平成19年度確保事業

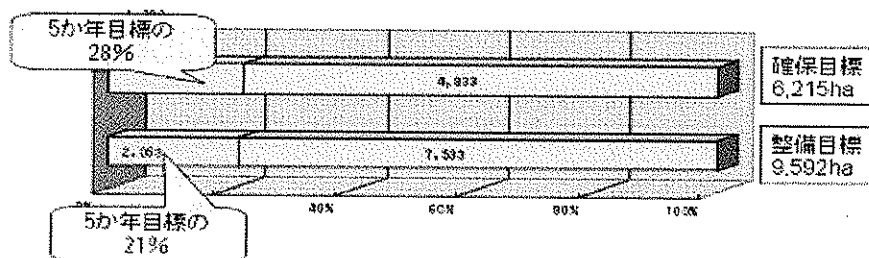
- 水源分収林: 8.8ヘクタール
- 水源協定林: 936.97ヘクタール
- 買取り: 109.22ヘクタール
- 協力協約: 327.26ヘクタール
- 合計: 1,382.25ヘクタール
- 執行実績: 6億2,946万円

■ 平成19年度整備事業

- 県による整備: 1,500.1ヘクタール
- 協力協約による整備: 558.58ヘクタール
- 執行実績: 13億9,015万円

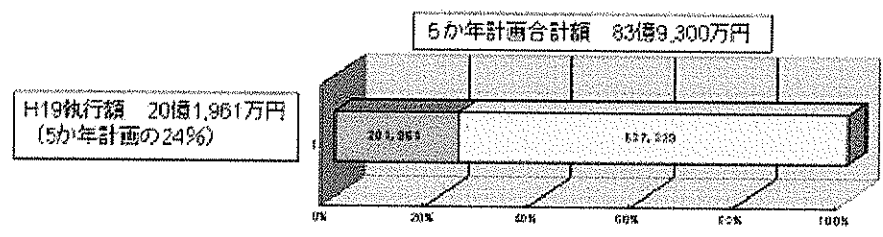
■ 5か年計画進捗状況

- 確保目標: 6,215ヘクタール
- 平成19年度確保面積: 1,382ヘクタール(5か年計画の28パーセント)
- 整備目標: 9,592ヘクタール
- 平成19年度整備面積: 2,059ヘクタール(5か年計画の21パーセント)



予算執行状況

- 5か年計画合計額: 83億9,300万円
- 平成19年度執行実績額: 20億1,961万円 (5か年計画の24パーセント)



平成20年度予定

- 予算額: 17億4,470万円
- 水源林確保: 1,398ヘクタール
- 水源林整備: 2,074ヘクタール

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

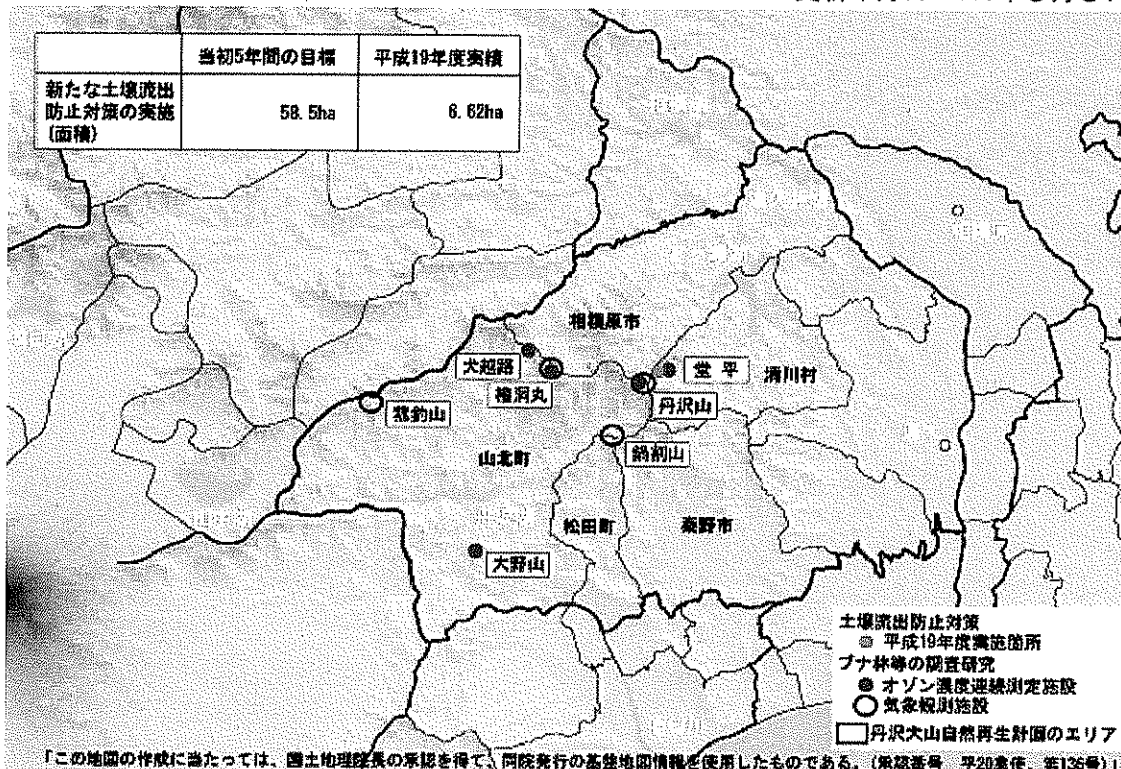
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



丹沢大山の保全・再生対策

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ [特別対策事業トップ](#)
- ▶ [水源の森林づくり](#)
- ▶ [丹沢大山保全再生](#)
- ▶ [溪畔林整備事業](#)
- ▶ [間伐材搬出促進](#)
- ▶ [地域水源林整備](#)
- ▶ [河川水路自然浄化対策](#)
- ▶ [地下水保全対策](#)
- ▶ [公共下水道](#)
- ▶ [合併処理浄化槽](#)
- ▶ [相模川水系流域環境共同調査](#)
- ▶ [水環境モニタリング調査](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組みづくり](#)
- ▶ [県民参加のページはこちら↓](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組み](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)
- ▶ [市民事業等審査専門委員会](#)
- ▶ [施策調査専門委員会](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)
- ▶ [出前懇談会](#)
- ▶ [ご意見をお寄せください](#)



[画像を拡大](#)

ねらい

水源保全上重要な丹沢大山について、シカの採食圧や土壌流出等による植生の衰退防止を図るため、新たな土壌流出防止対策を講じることで、森林の保全・再生を図る。

目標

丹沢大山国定公園の核となる特別保護地区(1,867ヘクタール)において、20年間で延べ234ヘクタール整備することを目標として、当初5年間で58.5ヘクタールの整備を行う。

事業内容

■ 新たな土壌流出防止対策の実施

丸太筋工、丸太柵工、植生保護柵等を組み合わせた新たな工法により、土壌流出を防止するとともに、植生の回復を図る。



い

林床植生が衰退し、急激な土壌浸食の発生等が認められる場所への整備を優先的に進めるとともに、新たな丹沢大山保全計画(仮称)に基づき、整備区域を大幅に拡充する。

■ **ブナ林等の調査研究**

土壌成分やオゾン等がブナ林に与える影響を調査し、保全対策に反映させる。

■ **県民連携・協働事業**

樹幹保護及び登山道整備等の協働事業を実施することにより、県民と行政の連携を図る仕組みを構築し、県民参加を促進する。

事業費

- 当初5年間計：7億9,600万円(単年度平均額 1億5,900万円)
- うち新規必要額：7億9,600万円(単年度平均額 1億5,900万円)

事業実施状況

平成19年度執行実績：9,692万円

■ **新たな土壌流出防止対策の実施**

平成19年度

- 詳細地形測量等：4,450.00ヘクタール
- 土壌流出対策工：6.62ヘクタール

■ **ブナ林等の調査研究**

平成19年度

- 大気気象観測機材の設置(丹沢山、堂平、大野山)
- ブナハバチ発生状況の調査手法の開発

■ **県民連携・協働事業**

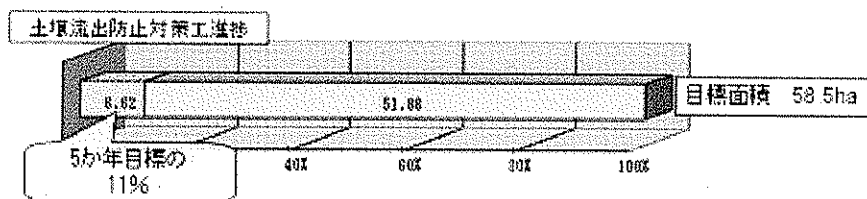
平成19年度

- 登山道の荒廃状況等、しくみの検討

5か年計画進捗状況

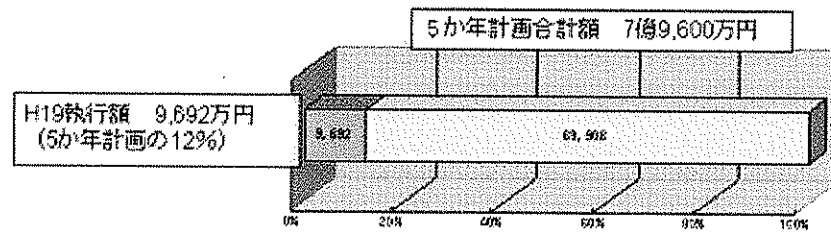
■ **土壌流出防止対策工進捗**

- 目標面積：58.5ヘクタール
- 平成19年度整備面積：6.62ヘクタール(5か年計画の11パーセント))



予算執行状況

- 5か年計画合計額：7億9,600万円
- 平成19年度執行実績額：9,692万円（5か年計画の12パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：1億5,030万円
- 土壌流出防止対策：15.0ヘクタール
- ブナ林等の調査研究
- 県民協働型登山道維持管理補修事業ほか

※ このページの先頭へもどる

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県の運営情報 | 暮らし・交流 | ビジネス・働く

県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 特別対策事業の紹介 >



溪畔林整備事業

更新年月日・2008年●月●日

特別対策事業トップ

[水源の森林づくり](#)

[丹沢大山保全再生](#)

[溪畔林整備事業](#)

[間伐材搬出促進](#)

[地域水源林整備](#)

[河川水路自然浄化対策](#)

[地下水保全対策](#)

[公共下水道](#)

[合併処理浄化槽](#)

[相模川水系流域環境共同調査](#)

[水環境モニタリング調査](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

県民参加のページはこちら↓

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

[市民事業等審査専門委員会](#)

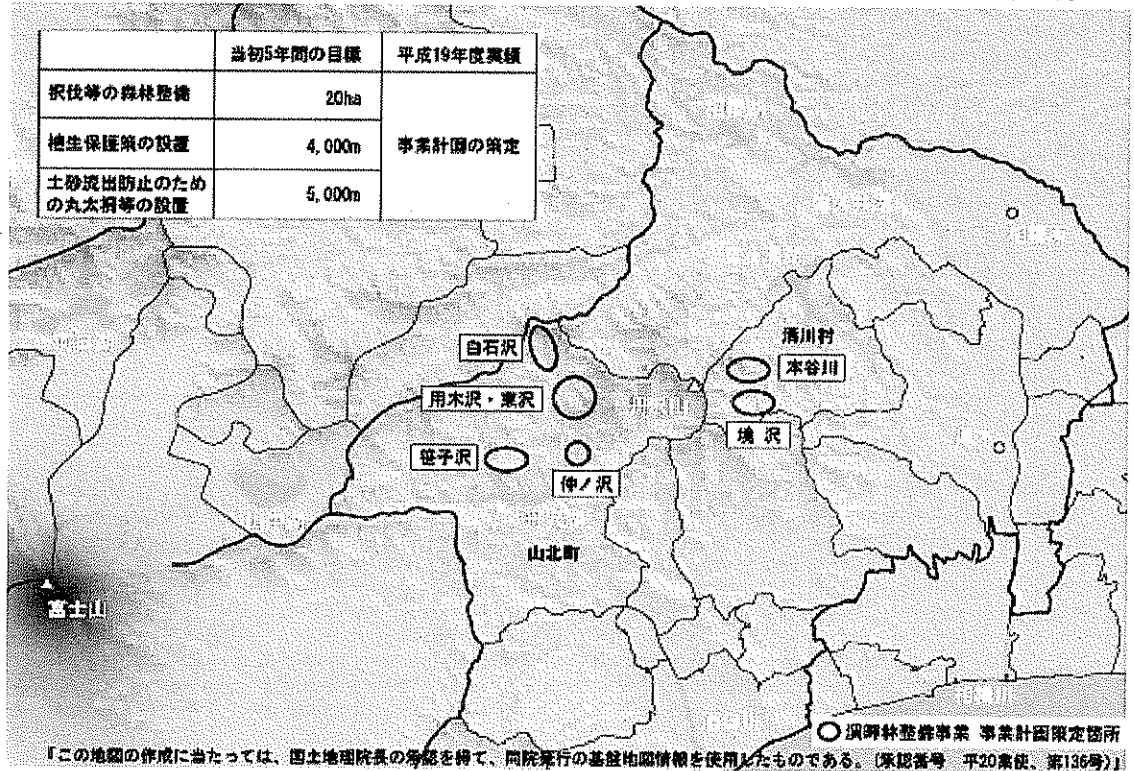
[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)

	当初5年間の目標	平成19年度実績
択伐等の森林整備	20ha	事業計画の策定
植生保護柵の設置	4,000m	
土砂流出防止のための丸太柵等の設置	5,000m	



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の考案を得て、同院発行の基礎地理情報を使用したものである。(承認番号 平20業促 第136号)」

[画像を拡大](#)

ねらい

水源上流の溪流沿いにおいて、土砂流出防止や水質浄化、生物多様性の保全など森林の有する公益的機能が高度に発揮される良好な溪畔林の形成を目指す。

目標

丹沢大山自然再生計画区域内にある主流となる沢沿いの森林180ヘクタールのうち、土砂流出等の荒廃の著しい20ヘクタールについて、5年間で整備する。

事業内容

丹沢大山自然再生計画区域内における土砂流出等荒廃の著しい主要な沢について、概ね片岸30メートルずつ、合わせて60メートルを溪畔林として、択伐等の森林整備を実施するとともに、植生保護柵の設置による植生の回復や丸太柵等の設置による土砂流出防止の対策を講じる。(当初5年間は、見本林として私有林所有者への普及につながる県有林内で実施する。)

調査測量

沢の重点管理区域の調査測量を実施する。

い

■ 択伐等の森林整備

調査測量の結果及び新たな丹沢大山保全計画に基づき、当初5年間で択伐等の森林整備(20ヘクタール)、植生保護柵の設置(4,000メートル)、土砂流出防止のための丸太柵等の設置(5,000メートル)を実施する。

事業費

- 当初5年間計：2億円(単年度平均額 4,000万円)
- うち新規必要額：2億円(単年度平均額 4,000万円)

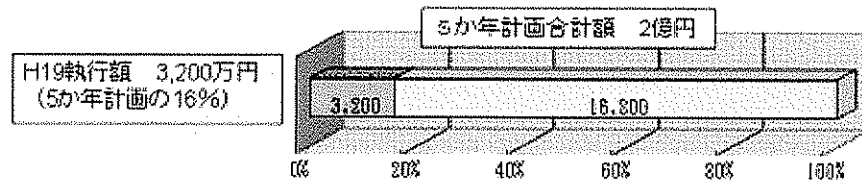
事業実施状況

■ 平成19年度

- 平成19年度は事業計画を策定
- 山北町(笹子沢、白石沢、用木沢、東沢、仲ノ沢)
 - 清川村(本谷川支流、境沢)
 - 執行実績：3,200千円

予算執行状況

- 5か年計画合計額：2億円
- 平成19年度執行実績額：3,200万円(5か年計画の16パーセント)



平成20年度予定

- 予算額：2,700万円
- 森林整備：5.0ヘクタール
- 植生保護柵等の設置：1,000メートルほか

※ このページの先頭へもどる

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) 2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.

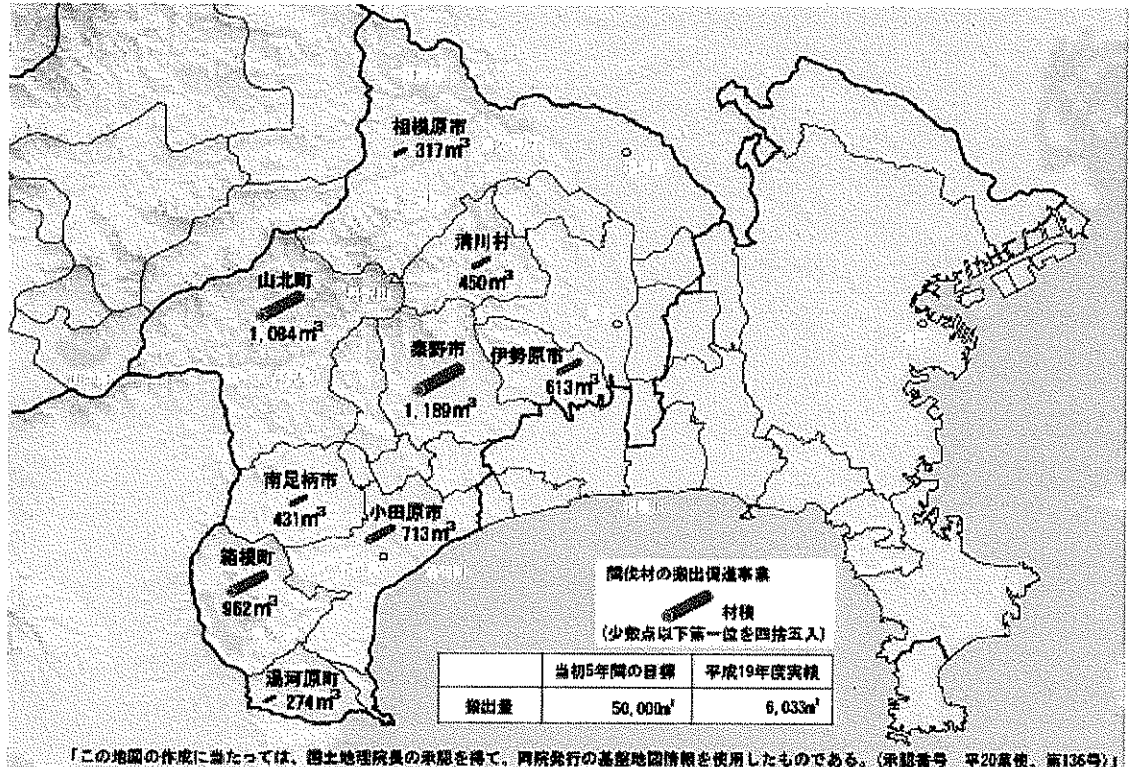
県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 特別対策事業の紹介 >



間伐材の搬出促進

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ 特別対策事業トップ
- 水源の森林づくり
- 丹沢大山保全再生
- 溪畔林整備事業
- 間伐材搬出促進
- 地域水源林整備
- 河川水路自然浄化対策
- 地下水保全対策
- 公共下水道
- 合併処理浄化槽
- 相模川水系流域環境共同調査
- 水環境モニタリング調査
- 県民参加による新たな仕組みづくり



[画像を拡大](#)

ねらい

水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進めるため、間伐材の搬出を促進し、有効利用を図ることにより、資源循環による森林整備を推進する。

目標

森林整備により発生した間伐材の搬出を段階的に強化し、平成27年度を目標に年間24,000立方メートルの間伐材の搬出及び有効利用を図る。

事業内容

■ 間伐材の搬出支援

森林整備により伐採された間伐材の集材、搬出に要する経費に対して助成する。

■ 生産指導活動の推進

森林所有者に対する経営指導や生産指導を行う指導員を配置し、森林所有者に対する間伐材の搬出への働きかけや山土場での技術指導を行う。

県民参加のページはこちら

↓
県民参加による新たな仕組み

水源環境保全・再生かながわ県民会議

市民事業等審査専門委員会

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

出前懇談会

ご意見をお寄せください

事業費

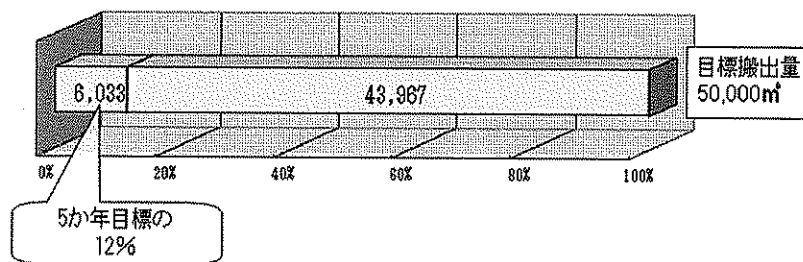
- 当初5年間計：4億900万円(単年度平均額 8,200万円)
- うち新規必要額：4億900万円(単年度平均額 8,200万円)

事業実施状況

■ 間伐材の搬出支援

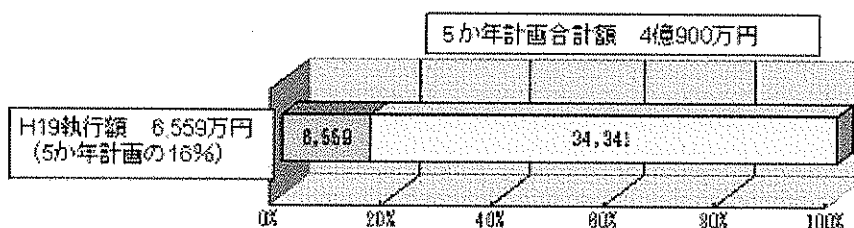
平成19年度

- 搬出量：6032.799立方メートル
- 執行実績：6,559万円



予算執行状況

- 5か年計画合計額：4億900万円
- 平成19年度執行実績額：6,559万円(5か年計画の16パーセント)



間伐材搬出量

搬出元の森林の所在地	搬出量(単位:立方メートル)
小田原市	713.433
相模原市	316.960
秦野市	1,189.090
伊勢原市	613.221
南足柄市	431.107
山北町	1,083.575
箱根町	961.599
湯河原町	273.644
清川村	450.170
合計	6032.799

平成20年度予定

- 予算額:8,537万円
- 搬出量:8,000立法メートル

[※ このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

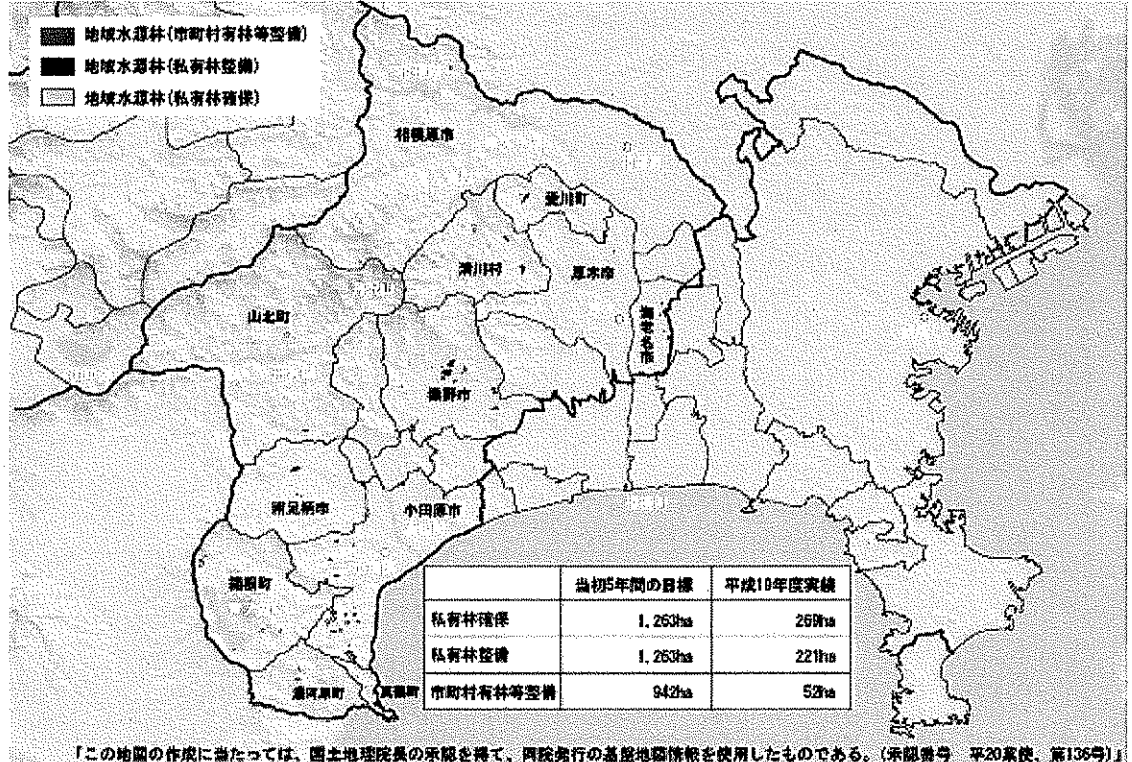
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



地域水源林整備の支援

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ [特別対策事業トップ](#)
- ▶ [水源の森林づくり](#)
- ▶ [丹沢大山保全再生](#)
- ▶ [溪畔林整備事業](#)
- ▶ [間伐材搬出促進](#)
- ▶ [地域水源林整備](#)
- ▶ [河川水路自然浄化対策](#)
- ▶ [地下水保全対策](#)
- ▶ [公共下水道](#)
- ▶ [合併処理浄化槽](#)
- ▶ [相模川水系流域環境共同調査](#)
- ▶ [水環境モニタリング調査](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組みづくり](#)
- ▶ [県民参加のページはこちら↓](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組み](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)
- ▶ [市民事業等審査専門委員会](#)
- ▶ [施策調査専門委員会](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)
- ▶ [出前懇談会](#)
- ▶ [ご意見をお寄せください](#)



[画像を拡大](#)

ねらい

地域における水源保全を図るため、市町村が主体的に取り組む水源林の確保・整備や、地域水源林エリアの林齢36年生以上の私有林人工林の間伐を推進することにより、県内水源保全地域全域で水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。

目標

地域水源林エリア内において、荒廃が懸念される私有林9,000ヘクタールのうち水源の保全上重要な森林約6,000ヘクタールについて、20年間での公的支援を行うことを目標として、当初5年間で1,263ヘクタールを確保・整備する。

県内水源保全地域内の市町村有林等2,761ヘクタール(地域水源林エリア内1,215ヘクタール、水源の森林エリア内1,546ヘクタール)のうち、水源の保全上重要な市町村有林等2,356ヘクタールについて、20年間で延べ4,476ヘクタールを整備することを目標として、当初5年間で942ヘクタールを整備する。

林齢36年生以上の私有林人工林3,673ヘクタールについて、概ね15年に一度間伐を実施することで、20年間で延べ4,755ヘクタールの間伐を目標として、当初5年間で1,080ヘクタールの間伐を促進する。

い

事業内容

県内水源保全地域全域で水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指すため、次の市町村の取組を支援する。

- 市町村が計画的に実施する私有林の確保・整備(市町村)
地域水源林エリア内の私有林について、協力協約等による確保・整備を行う。
- 市町村有林等の整備(市町村)
地域水源林エリア内及び水源の森林エリア内の市町村有林等の整備を行う。
- 高齢級間伐の促進(県)
地域水源林エリア内の36年生以上の私有林人工林について、概ね15年に1度の間伐を促進する。

事業費

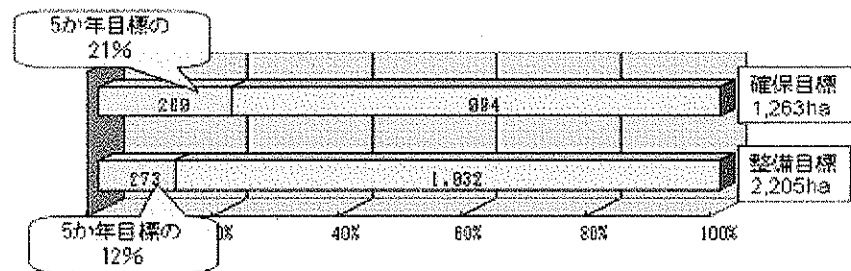
- 当初5年間計：11億5,400万円（単年度平均額 2億3,100万円）
- うち新規必要額：9億4,900万円（単年度平均額 1億9,000万円）

事業実施状況

- 平成19年度
 - 私有林確保：269ヘクタール
 - 私有林整備：221ヘクタール（うち、高齢級間伐：127ヘクタール）
 - 市町村有林整備：52ヘクタール
 - 執行実績：3億8,657万円

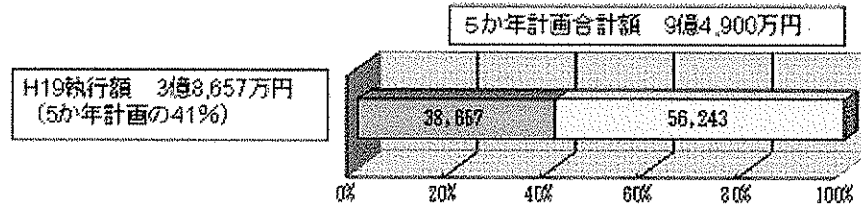
5か年計画進捗状況

- 確保目標：1,263ヘクタール
- 平成19年度確保面積：269ヘクタール（5か年計画の21パーセント）
- 整備目標：2,205ヘクタール
- 平成19年度整備面積：273ヘクタール（5か年計画の12パーセント）



予算執行状況

- 5か年計画合計額：9億4,900万円
- 平成19年度執行実績額：3億8,657万円（5か年計画の41パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：7億840万円
- 私有林確保：197ヘクタール
- 私有林整備：223ヘクタール
- 市町村有林整備：152ヘクタール
- 高齢級間伐：245ヘクタール

市町村別実施状況

- [小田原市](#)
- [相模原市](#)
- [秦野市](#)
- [厚木市](#)
- [海老名市](#)
- [南足柄市](#)
- [中井町](#)
- [松田町](#)
- [山北町](#)
- [箱根町](#)
- [真鶴町](#)
- [湯河原町](#)
- [愛川町](#)
- [清川村](#)

[このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報/バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

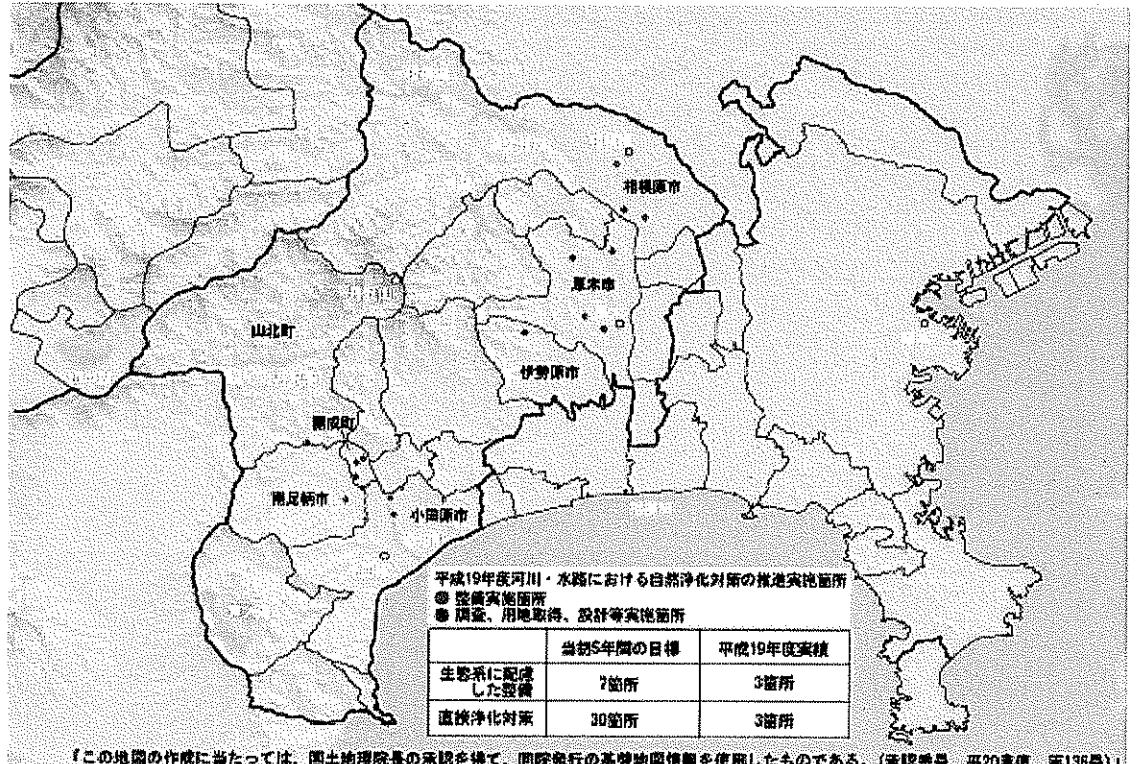
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



河川・水路における自然浄化対策

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ [特別対策事業トップ](#)
- ▶ [水源の森林づくり](#)
- ▶ [丹沢大山保全再生](#)
- ▶ [溪畔林整備事業](#)
- ▶ [間伐材搬出促進](#)
- ▶ [地域水源林整備](#)
- ▶ [河川水路自然浄化対策](#)
- ▶ [地下水保全対策](#)
- ▶ [公共下水道](#)
- ▶ [合併処理浄化槽](#)
- ▶ [相模川水系流域環境共同調査](#)
- ▶ [水環境モニタリング調査](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組みづくり](#)



画像を拡大

ねらい

水源として利用している河川において、自然浄化や水循環の機能を高め、水源河川としてふさわしい水環境の保全・再生を図る。

目標

自然浄化や水循環の機能を高めるため、河川環境の再生を目指し、河川・水路等の環境整備を推進する。

事業内容

市町村管理の河川・水路等における生態系の保全を推進し、良好な水源環境を形成するため、次の市町村の取組を支援する。

■ 生態系に配慮した河川・水路等の整備(市町村)

ダム湖や水源河川に流入する市町村管理の河川や水路等において、自然豊かな清流を保全するため、生態系に配慮した水辺環境の整備に取り組む。

■ 河川・水路等における直接浄化対策(市町村)

県民参加のページはこちら↓

- ▶ [県民参加による新たな仕組み](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)
- ▶ [市民事業等審査専門委員会](#)
- ▶ [施策調査専門委員会](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)
- ▶ [出前懇談会](#)
- ▶ [ご意見をお寄せください](#)

い

ダム湖や水源河川に流入する市町村管理の河川や水路等において、木炭等を利用した直接浄化の取組を推進する。

事業費

- 当初5年間計：11億2,200万円（単年度平均額 2億2,400万円）
- うち新規必要額：11億2,200万円（単年度平均額 2億2,400万円）

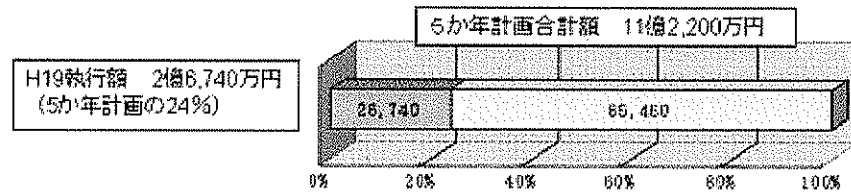
事業実施状況

■ 平成19年度

- 生態系に配慮した河川・水路等の整備：3箇所
- 河川・水路等における直接浄化対策：3箇所
- 執行実績：2億6,740万円

予算執行状況

- 5か年計画合計額：11億2,200万円
- 平成19年度執行実績額：2億6,740万円（5か年計画の24パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：4億860万円
- 生態系に配慮した河川・水路等の整備：10箇所
- 河川・水路等における直接浄化対策：3箇所

市町村別実施状況

- 小田原市
- 相模原市
- 厚木市
- 伊勢原市
- 南足柄市
- 山北町
- 開成町

◆ [このページの先頭へもどる](#)

◆ このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県の運営情報 | 暮らし・交流 | ビジネス・働く

県トップページ > 暮らし・交流 > 環境 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 特別対策事業の紹介 >



地下水保全対策の推進

更新年月日・2008年●月●日

特別対策事業トップ

[水源の森林づくり](#)

[丹沢大山保全再生](#)

[溪畔林整備事業](#)

[間伐材搬出促進](#)

[地域水源林整備](#)

[河川水路自然浄化対策](#)

[地下水保全対策](#)

[公共下水道](#)

[合併処理浄化槽](#)

[相模川水系流域環境共同調査](#)

[水環境モニタリング調査](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

[県民参加のページはこちら↓](#)

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

[市民事業等審査専門委員会](#)

[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)

	当初5年間の目標	平成19年度実績
地下水保全計画の策定	地下水かん養や水質保全のための計画策定	計画の策定(南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町)
地下水かん養対策	休耕田の倍上げ、樹林地等の買上げ、透水性舗装の実施、雨水浸透弁の設置等	樹林地の買上げ(座間市)
地下水汚染対策	地下水の浄化設備等の整備、維持管理	浄化設備の整備(藤野市)
地下水モニタリング	地下水の水位や水質のモニタリングを毎年実施、観測井の整備	モニタリングの実施(秦野市)

赤文字の市町 地下水保全計画の策定
 ● 地下水かん養対策 (休耕地の買上げ)
 ● 地下水汚染対策 (浄化設備の整備、観測井)

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用したものである。(承認番号 平20業使、第136号)」

[画像を拡大](#)

ねらい

地下水(伏流水、湧水を含む)を主要な水道水源として利用している地域において、それぞれの地域特性に応じて市町村が主体的に行う地下水かん養や水質保全等の取組を促進し、良質で安定的な地域水源の確保を図る。

目標

将来にわたり地下水利用や環境面に影響のない水位レベルを維持するとともに、地下水の水質が環境基準以下の数値となることを目指す。

事業内容

地下水を主要な水道水源としている地域内の市町村が計画的に実施する地下水のかん養対策や汚染対策への支援を行う。

- 地下水保全計画の策定
- 地下水かん養対策
- 地下水汚染対策
- 地下水モニタリング

い

事業費

- 当初5年間計：11億6,500万円（単年度平均額 2億3,300万円）
- うち新規必要額：11億6,500万円（単年度平均額 2億3,300万円）

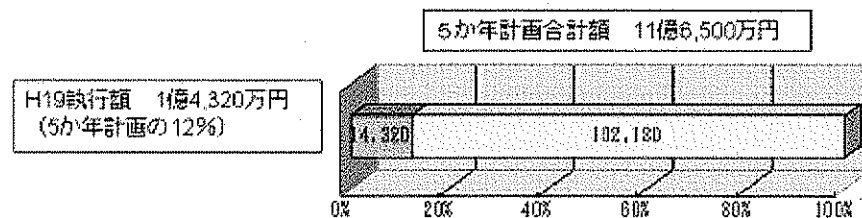
事業実施状況

■ 平成19年度

- 地下水保全計画の策定
- かん養対策、汚染対策の実施
- 執行実績：1億4,320万円

予算執行状況

- 5か年計画合計額：11億6,500万円
- 平成19年度執行実績額：1億4,320万円（5か年計画の12パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：2億1,290万円
- 地下水保全計画の策定
- かん養対策・汚染対策の実施

■ 市町村別実施状況

- 秦野市
- 座間市
- 南足柄市
- 中井町
- 大井町
- 松田町
- 山北町
- 開成町
- 真鶴町

◆ このページの先頭へもどる

◎ このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県内ダム集水域における公共下水道の整備促進

更新年月日・2008年●月●日

特別対策事業トップ

[水源の森林づくり](#)

[丹沢大山保全再生](#)

[溪畔林整備事業](#)

[間伐材搬出促進](#)

[地域水源林整備](#)

[河川水路自然浄化対策](#)

[地下水保全対策](#)

[公共下水道](#)

[合併処理浄化槽](#)

[相模川水系流域環境共同調査](#)

[水環境モニタリング調査](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

[県民参加のページはこちら↓](#)

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

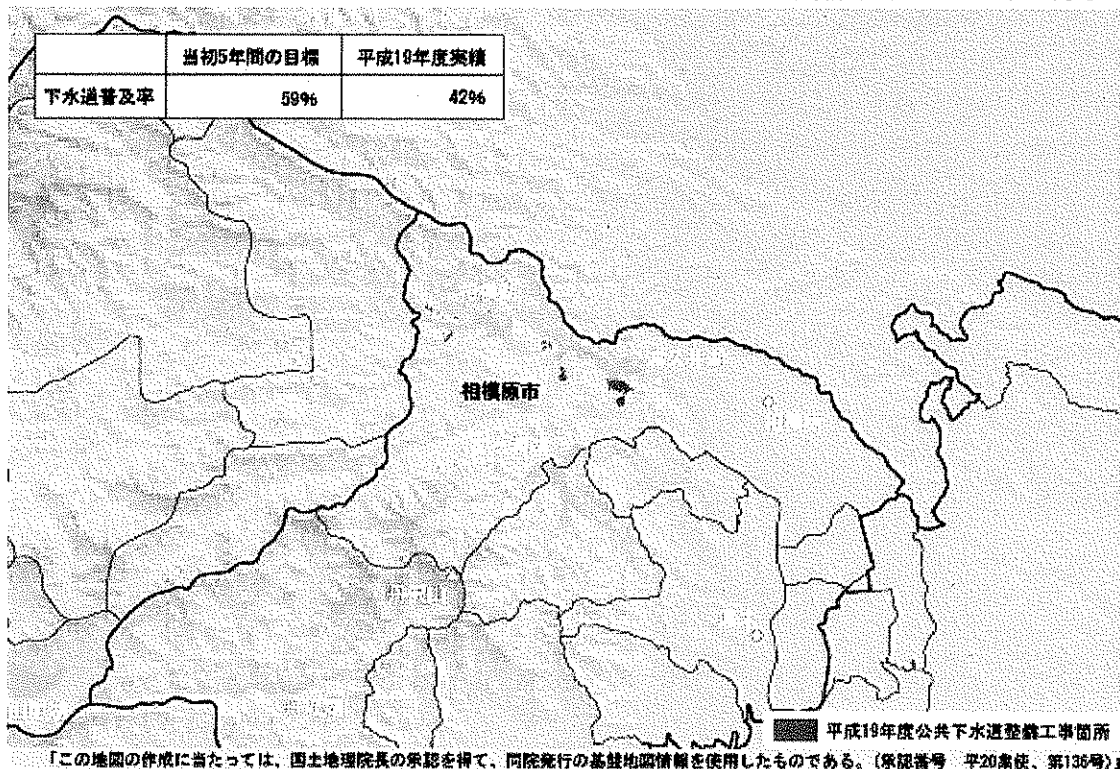
[市民事業等審査専門委員会](#)

[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)



[画像を拡大](#)

ねらい

富栄養化の状態にあるダム湖への生活排水の流入を抑制するため、県内ダム集水域の公共下水道整備を促進し、ダム湖水質の改善を目指す。

目標

県内ダム集水域の下水道計画区域における下水道普及率を20年間で100%とすることを目標とし、当初5年間で59%程度(平成15年度末現在37%)に引き上げる。

事業内容

県内ダム集水域の下水道計画区域において、公共下水道の整備を促進するために追加的に必要となる経費のうち、国庫補助金及び地方交付税措置額を除く公費負担相当額を市町村に対し支援する。

事業費

- 当初5年間計：76億6,400万円(単年度平均額 15億3,300万円)
- うち新規必要額：42億7,000万円(単年度平均額 8億5,400万円)

い

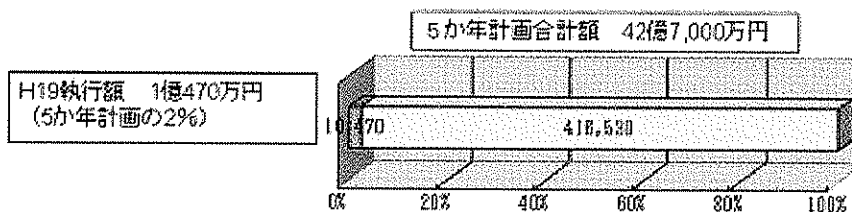
事業実施状況

■ 平成19年度

- 整備面積：28.6ヘクタール
- 執行実績：1億470万円

■ 予算執行状況

- 5か年計画合計額：42億7,000万円
- 平成19年度最終予算額：1億470万円（5か年計画の2パーセント）



■ 平成20年度予定

- 予算額：4億8,000万円
- 整備面積：27.3ヘクタール

■ 市町村別実施状況

- 相模原市

◆ [このページの先頭へもどる](#)

● このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

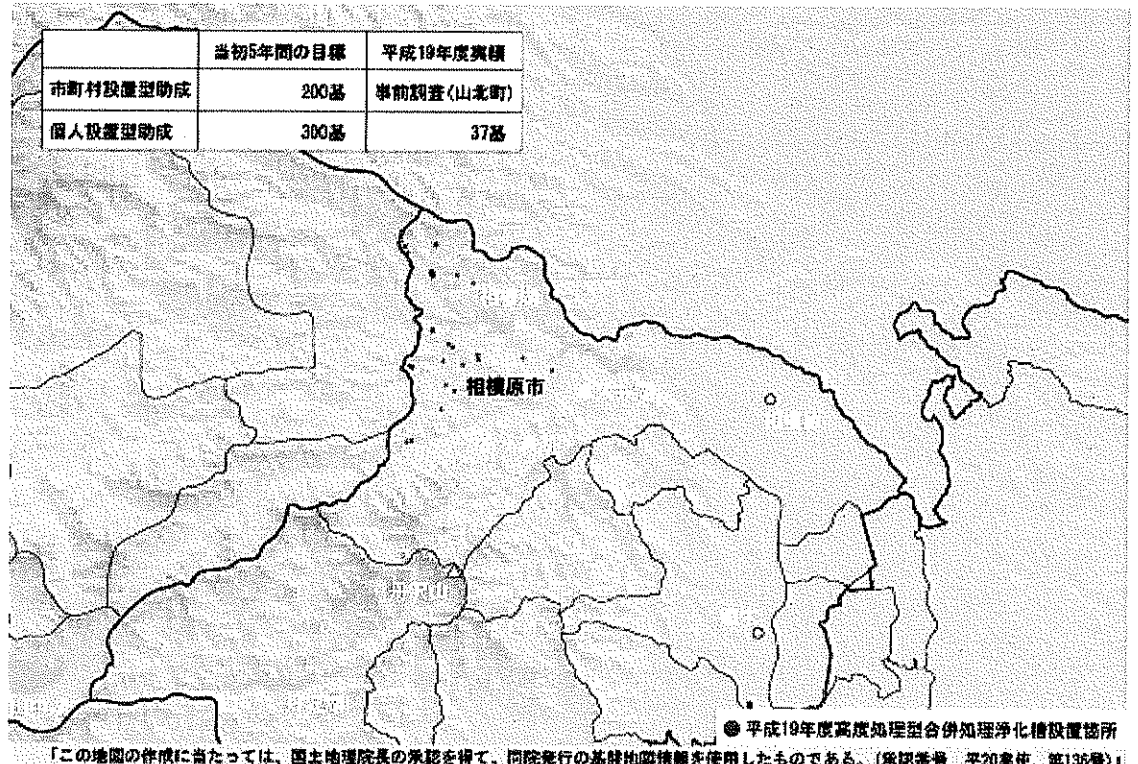
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ [特別対策事業トップ](#)
- ▶ [水源の森林づくり](#)
- ▶ [丹沢大山保全再生](#)
- ▶ [溪畔林整備事業](#)
- ▶ [間伐材搬出促進](#)
- ▶ [地域水源林整備](#)
- ▶ [河川水路自然浄化対策](#)
- ▶ [地下水保全対策](#)
- ▶ [公共下水道](#)
- ▶ [合併処理浄化槽](#)
- ▶ [相模川水系流域環境共同調査](#)
- ▶ [水環境モニタリング調査](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組みづくり](#)
- ▶ [県民参加のページはこちら↓](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組み](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)
- ▶ [市民事業等審査専門委員会](#)
- ▶ [施策調査専門委員会](#)
- ▶ [水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)
- ▶ [出前懇談会](#)
- ▶ [ご意見をお寄せください](#)



[画像を拡大](#)

ねらい

県内ダム集水域において、窒素・リンを除去する高度処理型合併処理浄化槽の導入を促進し、富栄養化の状態にあるダム湖水質の改善を目指す。

目標

県内ダム集水域において、20年間で合併処理浄化槽を完備することとし、当初5年間で市町村設置型合併処理浄化槽は全体計画基数のすべてを、個人設置型合併処理浄化槽は全体計画基数の4分の1程度を整備する。

事業内容

県内ダム集水域において、高度処理型合併処理浄化槽の整備を促進するとともに、市町村設置型合併処理浄化槽の導入を促進するため、この取組を行う市町村への支援を行う。

■市町村設置型(高度処理型)

合併処理浄化槽を設置するため必要となる経費のうち、国庫補助金及び地方交付税措置額を除く公費負担相当額、維持管理費、単独処理浄化槽撤去費を支援する。

い

■ 個人設置型(高度処理型)

合併処理浄化槽の整備助成に対し、公費負担相当額の50%(本来は3分の1)、個人負担相当額の50%、奨励金、単独処理浄化槽撤去費を支援する。

事業費

- 当初5年間計：8億5,800万円(単年度平均額 1億7,200万円)
- うち新規必要額：6億4,600万円(単年度平均額 1億2,900万円)

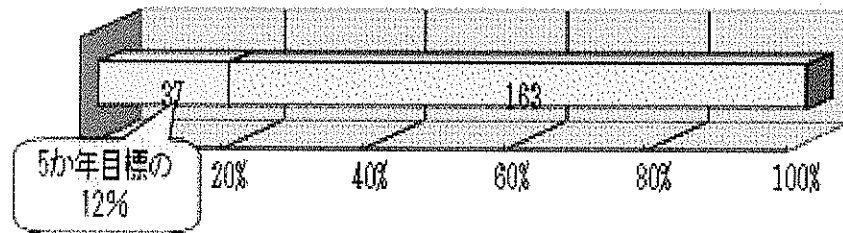
事業実施状況

■ 平成19年度

- 事前調査
- 個人設置型：37基設置
- 執行実績：6,640万円

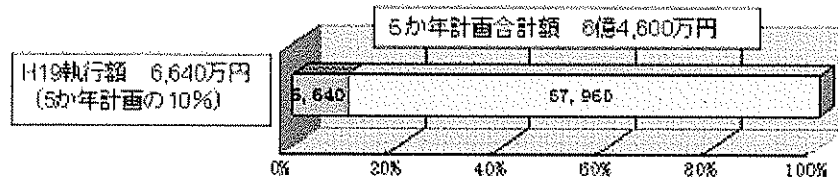
5か年計画進捗状況

- 個人設置型目標設置数：300基
- 平成19年度設置数：37基(5か年計画の12パーセント)
- 市町村設置型目標設置数：200基(平成20年度から)



予算執行状況

- 5か年計画合計額：6億4,600万円
- 平成19年度執行実績額：6,640万円(5か年計画の10パーセント)



平成20年度予定

- 予算額：1億8,320万円86基
- 個人設置型設置数：86基
- 市町村設置型設置数：30基

市町村別実施状況

- 相模原市
- 山北町

このページの先頭へもどる

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

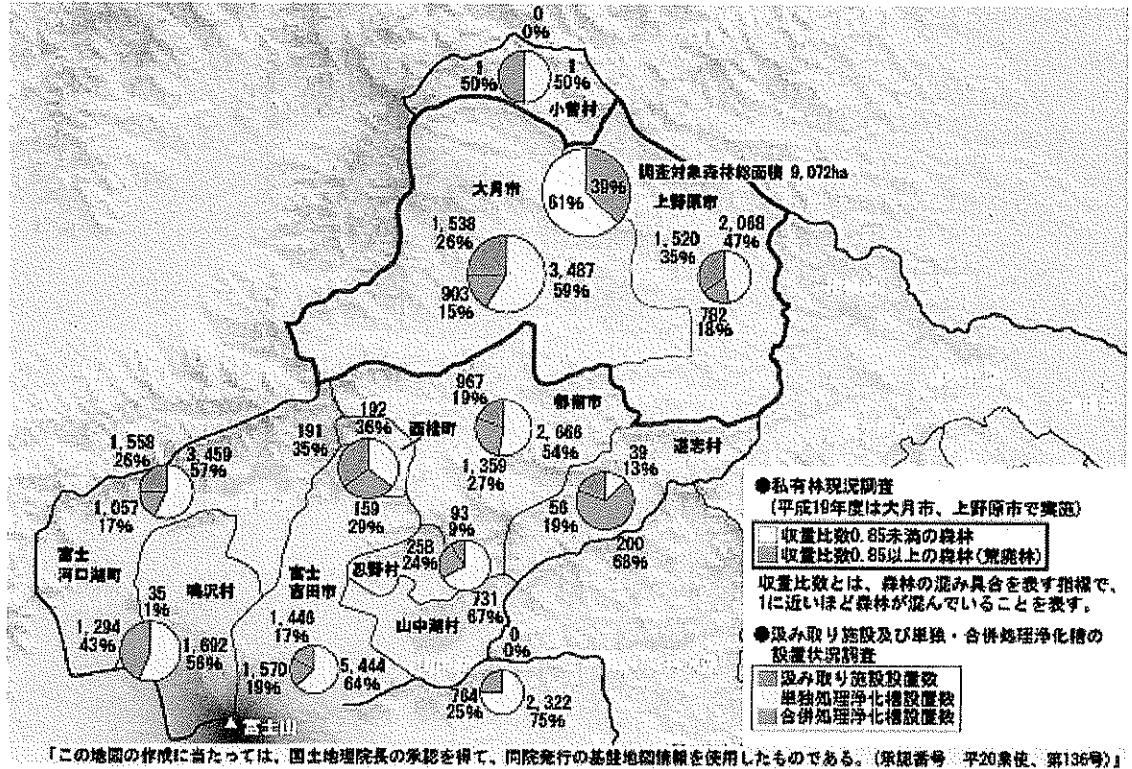
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



相模川水系流域環境共同調査の実施

更新年月日・2008年●月●日

- ▶ [特別対策事業トップ](#)
- ▶ [水源の森林づくり](#)
- ▶ [丹沢大山保全再生](#)
- ▶ [溪畔林整備事業](#)
- ▶ [間伐材搬出促進](#)
- ▶ [地域水源林整備](#)
- ▶ [河川水路自然浄化対策](#)
- ▶ [地下水保全対策](#)
- ▶ [公共下水道](#)
- ▶ [合併処理浄化槽](#)
- ▶ [相模川水系流域環境共同調査](#)
- ▶ [水環境モニタリング調査](#)
- ▶ [県民参加による新たな仕組みづくり](#)



画像を拡大

ねらい

相模川水系の県外上流域において、効果的な保全対策を実施するため、神奈川県と山梨県が共同して調査を行い、県外上流域(山梨県内)の森林の状況や、桂川・相模川全流域の水質汚濁負荷の発生及び流達状況等について、現状と事業着手後の状況を把握する。

目標

県外上流域における水源環境保全・再生施策の立案及び事業着手後の効果分析に必要な流域環境の状況を把握する。

事業内容

山梨県側の県外上流域対策について今後の具体的な取組内容を定めるため、県外上流域の森林の現況や、桂川・相模川全流域の水質汚濁負荷の状況等について、神奈川県と山梨県が共同で事前調査を行う。

■ 私有林現況調査・機能評価

山梨県側の県外上流域の私有林約35,000ヘクタールについて、管理状況調査を行う

県民参加のページはこちら

県民参加による新たな仕組み

水源環境保全・再生かながわ県民会議

市民事業等審査専門委員会

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

出前懇談会

ご意見をお寄せください

とともに、調査結果に基づき整備目標としての森林機能のランク付けを行う。

■ 水質汚濁負荷量調査

桂川・相模川全流域での水質調査及び窒素、リン等の排出源に係る原単位調査を行う。

■ 生活排水対策管理状況調査

山梨県側の県外上流域の浄化槽について、管理状況等の調査を行う。

事業費

- 当初5年間計：9,800万円（単年度平均額 2,000万円）
- うち新規必要額：9,800万円（単年度平均額 2,000万円）

事業実施状況

平成19年度においては、「私有林(人工林)現況調査」、「生活排水処理方法実態調査」の二つの調査を、「相模川水系流域環境調査」として実施した。

平成19年度執行額：1,534万円

■ 私有林現況調査・機能評価

調査対象森林

私有林(会社有林、法人有林、個人有林等)のうちの人工林
調査スケジュール

平成19年度～20年度の2か年で調査を実施する計画で、平成19年度については、大月市・上野原市を対象に調査を実施した。

調査年度	調査対象地域
平成19年度	大月市、上野原市
平成20年度	富士吉田市、都留市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村

調査内容

- 調査対象森林について、目視等による現地調査を行い、概況を把握した。
- 今回の現地調査の結果と平成18年度に山梨県が実施した調査のデータを統合し、取りまとめた。

調査結果

今回の調査の結果と、平成18年に山梨県が実施調査のデータを統合し、次の結果を得た。

調査年度	調査対象森林総面積	総面積中荒廃林(注)面積	荒廃林の割合
平成19年度	9,072ヘクタール	3,580ヘクタール	39パーセント

(注)非常に混み合っている森林(収量比数0.85以上)を荒廃林とした(収量比数とは、森林の混み具合を表す指標で、0から1の間で表され、1に近いほど森林が混んでいることを表す)。

■ 生活排水対策管理状況調査

調査スケジュール

平成19年度中に調査対象地域全体(4市2町5村)を対象に調査を実施した。

調査内容

山梨県内の桂川・相模川流域における各世帯・事業所の、生活排水処理方法(下水道、単独・合併処理浄化槽、汲み取り等)について、山梨県及び山梨県内の桂川・相模川流域の市町村等が保有する既存データを活用し、地域別の処理方法の状況を把握した。

調査結果

山梨県及び山梨県内の桂川・相模川流域の市町村等から、調査に必要となる基礎データの提供を受けて、次の結果を得た。なお、調査時点は平成19年3月31日現在とした。

公共下水道の水洗化率(接続率)(注1)調査結果

市町村名	水洗化率(接続率)
富士吉田市	83.5パーセント
都留市	48.5パーセント
大月市	37.7パーセント
上野原市	60.6パーセント
道志村	(下水道計画なし)
西桂町	54.3パーセント
忍野村	81.5パーセント
山中湖村	80.2パーセント
鳴沢村	(下水道計画なし)
富士河口湖町	85.4パーセント
小菅村(注2)	100.0パーセント
合計	73.6パーセント

(注1)水洗化率(接続率)とは、水洗化人口(下水道処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を下水道で処理している人口)を下水道処理区域内人口で除したもの。

(注2)小菅村(本調査の対象地区は長作地区のみ)は、公共下水道ではなく農業集落排水施設で整備している。

公共下水道の水洗化率(接続率)調査結果は市町村データに基づく。

汲み取り施設及び単独・合併処理浄化槽の設置状況調査結果(単位:基数)

市町村名	汲み取り施設	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
富士吉田市	1,446	5,444	1,570
都留市	976	2,666	1,359
大月市	1,538	3,487	903
上野原市	1,520	2,068	782
道志村	56	39	200
西桂町	191	192	159
忍野村	93	731	258

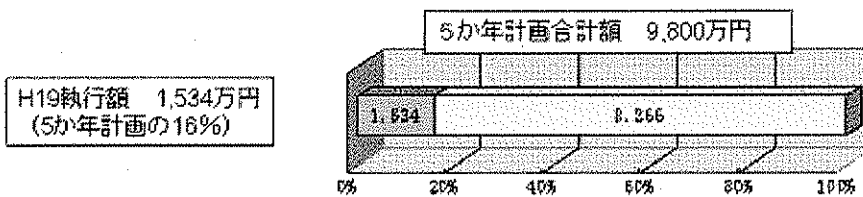
山中湖村	0	2,322	764
鳴沢村	35	1,692	1,294
富士河口湖町	1,558	3,459	1,057
小菅村	0	1	1
合計	7,404	22,101	8,347

汲み取り施設の設置状況調査結果は、市町村データに基づく。

単独処理浄化槽及び合併処理浄化槽の設置状況調査結果は、山梨県データに基づく。

予算執行状況

- 5か年計画合計額：9,800万円
- 平成19年度執行実績額：1,534万円（5か年計画の16パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：3,375万円
- 私有林調査
- 水質汚濁負荷量調査

※ このページの先頭へもどる

このページに関するご質問は、土地水資源対策課計画調整班にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



水環境モニタリング調査を実施します

更新年月日・2007年●月●日

特別対策事業トップ

[水源の森林づくり](#)

[丹沢大山保全再生](#)

[溪畔林整備事業](#)

[間伐材搬出促進](#)

[地域水源林整備](#)

[河川水路自然浄化対策](#)

[地下水保全対策](#)

[公共下水道](#)

[合併処理浄化槽](#)

[相模川水系流域環境共同調査](#)

[水環境モニタリング調査](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

[県民参加のページはこちら↓](#)

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

[市民事業等審査専門委員会](#)

[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)

ねらい

「順応的管理」の考え方にに基づき、事業実施と並行して、水環境全般にわたるモニタリング調査を実施し、事業の効果と影響を把握しながら評価と見直しを行うことで、柔軟な施策の推進を図るとともに、施策の効果を県民にわかりやすく示す。

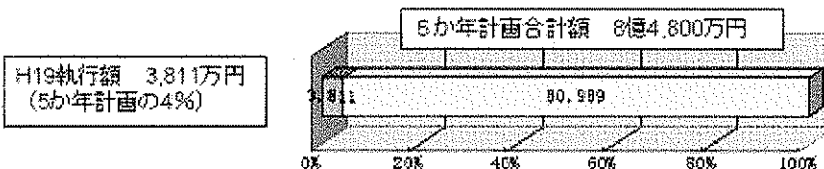
「順応的管理」とは、計画の実行過程をモニタリングし、その結果を分析・評価し、最新の科学的知見に基づいて、必要な計画の見直しを行うこと。

5か年計画進捗状況

- 平成19年度：森林のモニタリング調査、河川のモニタリング調査、情報提供

予算執行状況

- 5か年計画合計額：8億4,800万円
- 平成19年度執行実績額：3,811万円（5か年計画の4パーセント）



平成20年度予定

- 予算額：1億8,500万円
- 森林のモニタリング調査
- 河川のモニタリング調査
- 情報提供

Contents Menu 提供情報

- [森林のモニタリング調査](#)
- [河川のモニタリング調査](#)

[このページの先頭へもどる](#)

い

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

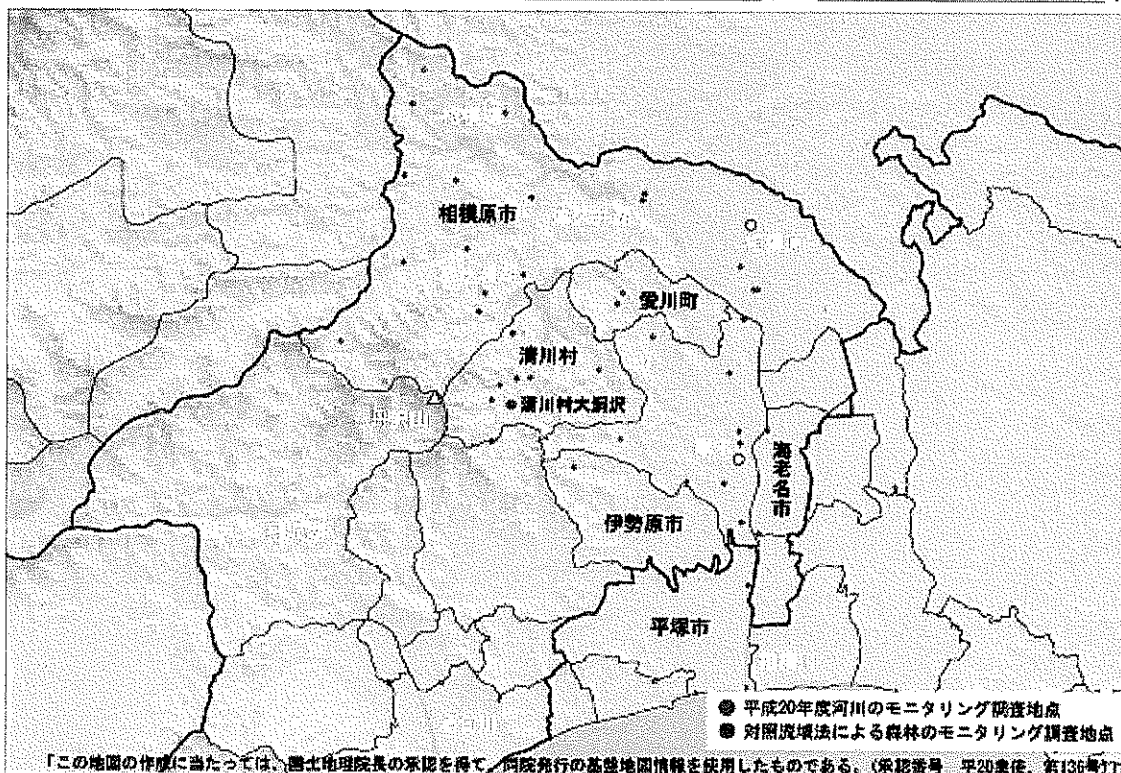
Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



森林のモニタリング調査

更新年月日・2008年●月●日

「対照流域法等による森林の水源涵養機能調査」の概要 | 人工林の整備状況調査 |



画像を拡大

「対照流域法等による森林の水源涵養機能調査」の概要

■ 対照流域法

概要

地形、植生、気象条件などが類似した近接する複数流域に量水堰堤などの観測施設を設置し、異なる典型的な施業を行い、流域の自然環境や水収支などの変化を時系列的に調査して、個別事業の事業結果の評価に参考となる各種データを収集する。

設置予定流域

- 平成20年度：宮ヶ瀬湖上流清川村大洞沢
- 平成21年度：相模湖上流相模原市相模湖

平成19年度の状況

体制整備、施設設計、モニタリング準備

■ 斜面ライシメータ法

概要

同一斜面に、コンクリート枠の試験区を設定し、森林状態を変えて、水流出や土壌流

▶ モニタリングトップ

森林のモニタリング調査

河川のモニタリング調査

県民参加のページはこちら↓

県民参加による新たな仕組み

水源環境保全・再生かながわ県民会議

市民事業等審査専門委員会

市民事業等支援制度

施策調査専門委員会

水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

出前懇談会

ご意見をお寄せください

出の変化を時系列的に調査し、森林整備事業県下の評価に参考となる各種データを収集する。

設置予定流域

- 未定

■ 全体計画

相模川	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
宮ヶ瀬ダム上流域清 川村大洞沢	事前環境調 査・流域モ デル	施設設定	モニタリ ング	モニタリ ング	モニタリ ング・中間取り まとめ
津久井ダム上流域旧 相模湖町		事前環境調 査・流域モ デル	試験地設 定・モニタリ ング	モニタリ ング	モニタリ ング・中間取り まとめ
丹沢湖上流域			事前環境調 査・流域モ デル	試験地設 定・モニタリ ング	モニタリ ング・中間取り まとめ
酒匂川流域上流				事前環境調 査・流域モ デル	試験地設定

※ このページの先頭へもどる

■ 人工林の整備状況調査

■ 調査目的

森林の保全・再生に係る取組みについては長期間を必要とすることから、特に荒廃の進行が懸念される人工林について、定期的に全体的な状況を把握し、森林の保全・再生に係る事業計画の検証・見直し等に活用する。

■ 調査対象

県内民有林のスギ・ヒノキ林 約30,000ヘクタール

■ 調査時期

概ね5年に1回

■ 調査方法

県内の人工民有林について悉皆的な現地調査を行い、森林の整備状況をAからDの4ランクに分類する。

ランク	状態
ランクA	手入れが適正にされている森林
ランクB	手入れの形跡があるが、ここ数年間整備していない森林
ランクC	長期間手入れの形跡がなく、荒廃が進んでいる森林
ランクD	荒廃化が進み、人工林として成林することが困難な森林

■ 過去の調査結果の概要

調査時期

平成8年度から平成14年度(この間、3回にわたり県内を順次調査)

調査結果

区分	A	B	C	D	ランク外	合計
面積(ヘクタール)	4,920	6,901	15,321	1,049	2,222	30,413
割合(%)	16	23	51	3	7	100

手入れが必要な森林(Bからランク外): 84%

ランク外: 調査対象人工林のうち、広葉樹化が進んだ森林

[※ このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



河川のモニタリング調査

更新年月日・2007年●月●日

[河川の流域における動植物等調査](#) | [河川水質の多様な指標による評価](#)

モニタリングトップ

[森林のモニタリング調査](#)

[河川のモニタリング調査](#)

[県民参加のページはこちら↓](#)

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

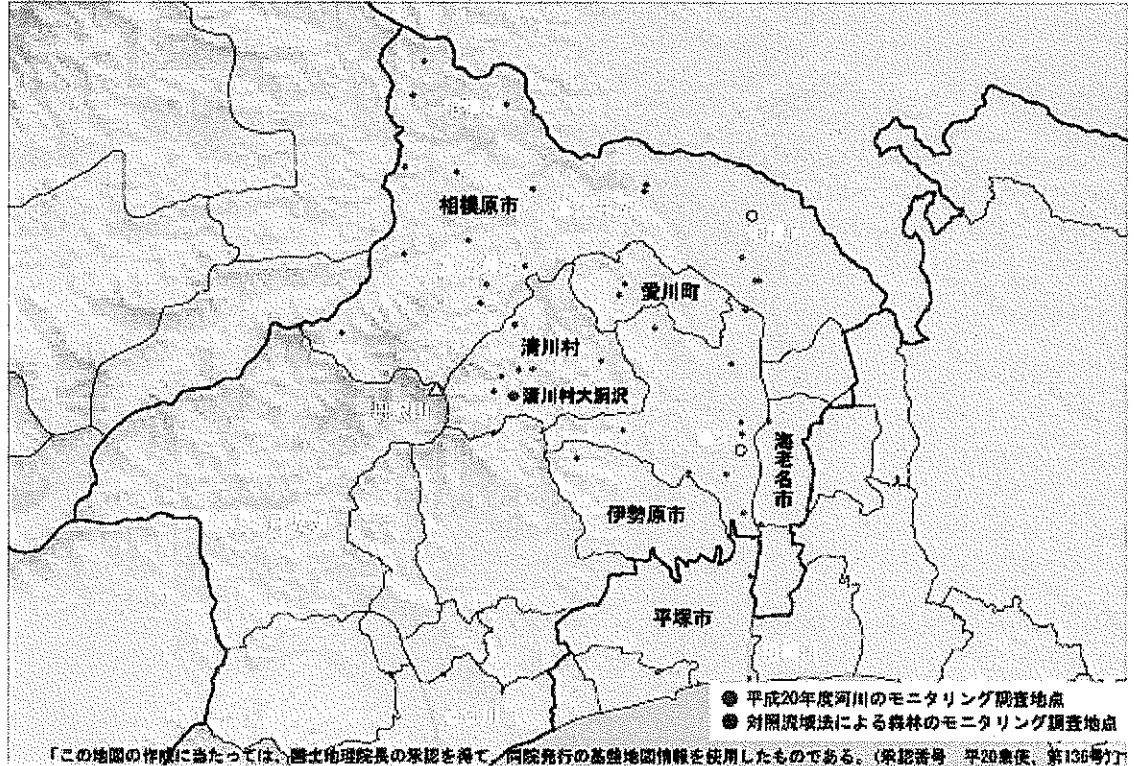
[市民事業等審査専門委員会](#)

[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)



「この地図の作成に当たっては、株式会社地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用したものである。（承認番号 平20東使 第136号）」

[画像を拡大](#)

河川の流域における動植物等調査

■ 概要

相模川水系及び酒匂川水系それぞれに十数箇所の調査地点を設け、平成19年度から23年度の5カ年の間に第1回目の現地調査を行い、現状把握と解析を行う。以降、5年に1回程度の間隔で現地調査を行い、経年変化を把握する。過去に実施された調査のデータベース化を図り、過去の状況からの変化についても把握・解析を行う。

■ 調査内容

- 水質調査
- 水生生物の生育調査
- 陸域の動植物等
- 生物の生息環境

※相模川水系、酒匂川それぞれ数十箇所に調査箇所を設ける。

※各調査箇所において、季節を変えて年3回調査を実施する。

■ スケジュール

相模川	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
調査計画の策定 過去の調査のデータ ベース化	実施				
現地調査		実施			
とりまとめ解析			実施		
補完調査				実施	
全体取りまとめ解析				実施	
次期5か年計画の検討					実施

酒匂川	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
調査計画の策定 過去の調査のデータ ベース化	実施				
現地調査			実施		
とりまとめ解析				実施	
補完調査				実施	
全体取りまとめ解析				実施	
次期5か年計画の検討					実施

↑ [このページの先頭へもどる](#)

■ 河川水質の多様な指標による評価

■ 概要

県民参加により、水環境に係る多様な指標について調査する。また、調査によって得られたデータを、「河川の流域における動植物等調査」を補完するものとして活用する。

■ 調査内容

- 水質調査
- 水生生物の生育調査
- 河川環境・連続性調査

■ スケジュール

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
調査計画の策定	実施				

県民参加のマニュアル作り 調査マニュアルの作成					
県民調査		実施	実施	実施	実施
県民調査のまとめ		実施	実施	実施	実施
県民調査結果報告会		実施	実施	実施	実施

※ [このページの先頭へもどる](#)

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.



県民参加による水源環境保全・再生のための新たな仕組みづくり

更新年月日・2008年●月●日

特別対策事業トップ

[水源の森林づくり](#)

[丹沢大山保全再生](#)

[溪畔林整備事業](#)

[間伐材搬出促進](#)

[地域水源林整備](#)

[河川水路自然浄化対策](#)

[地下水保全対策](#)

[公共下水道](#)

[合併処理浄化槽](#)

[相模川水系流域環境共同調査](#)

[水環境モニタリング調査](#)

[県民参加による新たな仕組みづくり](#)

[県民参加のページはこちら↓](#)

[県民参加による新たな仕組み](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民会議](#)

[市民事業等審査専門委員会](#)

[施策調査専門委員会](#)

[水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム](#)

[出前懇談会](#)

[ご意見をお寄せください](#)

ねらい

水源環境保全・再生施策について、計画、実施、評価、見直しなど、施策の実施段階に応じて、県民の皆さまから広く意見をいただき、取組に反映させていくため、「県民参加の仕組みづくり」を進める。

目標

県民の参加により水源環境の保全・再生施策を推進する新たな仕組みの定着を目指す。

事業内容

■ かながわ県民会議

県民参加のしくみとして、一般県民・有識者等を構成員とする「かながわ県民会議」を設置し、下部組織として、特定課題の検討を行う2つの専門委員会と3つの作業チームを組織する。

かながわ県民会議

専門委員会等からの報告に基づき、水源環境保全・再生施策全般にわたる検討を行う。

市民事業等審査専門委員会

NPO等市民活動の取組み等に見識を有した学識者等を中心に、「市民事業等への支援制度」について検討する。

施策調査専門委員会

森林や水環境等に精通した大学教授等を中心に、水源環境保全・再生施策の点検・評価、モニタリング、情報提供方法等の検討を行う。

■ 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラムの企画・運営

水源環境保全・再生施策について多くの県民参加の下で議論し、県の水源環境保全・再生施策の状況を報告するとともに、県民意見の収集を行う。

- 事業モニターチーム：各事業を順次モニターし、結果を県民に報告する。
- コミュニケーションチーム：県民へのわかりやすい情報提供の検討を行う。



い

事業費

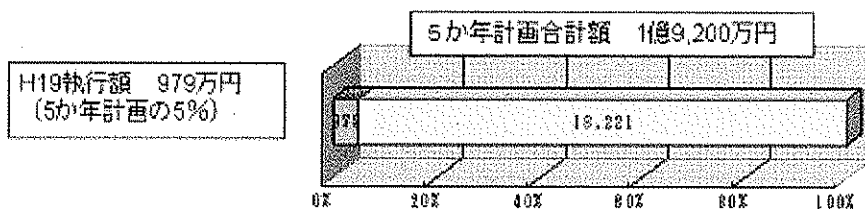
- 当初5年間計：1億9,200万円(単年度平均額 3,800万円)
- うち新規必要額：1億9,200万円(単年度平均額 3,800万円)

事業実施状況

- かながわ県民会議
平成19年度
 - 開催回数：4回
- 市民事業等審査専門委員会
平成19年度
 - 開催回数：6回
- 施策調査専門委員会
平成19年度
 - 開催回数：3回
- 水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム
平成19年度
 - 開催回数：3回
- 事業モニターチーム
平成19年度
 - 開催回数：1回
- コミュニケーションチーム
平成19年度
 - 開催回数：2回

予算執行状況

- 5か年計画合計額：1億9,200万円
- 平成19年度執行実績額：979万円(5か年計画の5パーセント)



平成20年度予定

- 予算額：4,000万円
- 県民会議・施策調査専門委員会・市民事業等審査専門委員会などの開催
- 県民フォーラムの開催・市民事業等への支援ほか

※ このページの先頭へもどる

このページに関するご質問は、[土地水資源対策課計画調整班](#)にお問い合わせください。

[ご利用にあたって](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権・免責事項](#)

[情報バリアフリー](#)

[神奈川県トップページ](#)

Copyright(C) -2007 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.